



井原デニム

岡山県「井原市」のデニム生地・デニム製品とそのブランドなどを指しています。

井原市には、デニム生地の工場、ジーンズの縫製・加工工場などが集まる「産地」で、1973年には、

井原のジーンズ生産本数は国内生産の約7割を占めるまでに。

近年では海外の高級ブランドから高く評価される「デニム生地の産地」としても注目されています。



作務衣の製作協力：青木被服株式会社



私達が着ている作務衣、僧衣は井原デニム製です。

【井原デニムストア】井原市七日市町944-5



【TEORI】倉敷市真備町服部1807



真備の竹細工

真備町は、特産物の春の味覚「たけのこ」が有名です。

その「たけのこ」が生えている竹林は、生産者により丁寧に手入れが施されており、とても素晴らしい景色を生み出し、その竹を使用して真備町では様々な竹製品が作られています。

例えば、竹を素材に使用した民芸調の「表札」や「招福札」、竹ひごを使用したクワガタやカブト虫、カマキリなど昆虫をあしらった竹製小物や音懐かしい竹トンボなどがあります。

また、孟宗竹を集成材にして製作した「竹家具」は、その優れたデザイン性と竹の持つ本来の硬質で曲げ、圧縮強度に優れた特徴を活かした独自の加工、接合技術で丁寧に仕上げられた商品で「グッドデザイン賞」を受賞するなど、その注目度は高い製品です。



募金箱の製作協力：株式会社TEORI



私達の手にはいる募金箱は真備製です。

備中とともに

備中備前には、備前大津藩の藩主・松平定直公が、備中備前を統一し、備前大津藩を築きました。



イラストは芳井町の漫画家、山岡さしです。

吹屋のベンガラ染め

ベンガラは土から取れる成分(酸化鉄)で紅靨、弁柄とも呼ばれ、語源はインドのベンガル地方より伝来したことからそう呼ばれています。

日本の暮らしにも古くから根付いている素材で陶器や漆器、また防虫、防腐の機能性から家屋のベンガラ塗りとしても使用されてきました。

ベンガラ染めは、土に帰る環境循環型の染めもので、水だけで簡単に染められ安全で誰もが楽しめます。

吹屋ふるさと村ではベンガラ染めの体験ができ、時間は15分~30分程度で、当日お持ち帰りも可能!お手軽に体験できます。



私達が持っているのぼり旗はベンガラ染めです。

のぼり旗の製作協力：佐藤初子さん小倉邦子さん

国の重要伝統的建造物群保存地区認定の吹屋ふるさと村は、赤銅色の石州瓦とベンガラ色の外観で統一された、見事な町並みが整然と続くこの町並みこそ、江戸末期から明治にかけ、吹屋の長者達が後世に残した最大の文化遺産です。

【吹屋ふるさと村】高梁市成羽町吹屋706



早島のい草

早島町は、い草、い草製品の町です。全国的な産地として江戸時代中期頃より発展。この辺りで織られる畳表は、「早島表」の名で大坂や江戸を経由して全国に出荷。早島、茶屋町を中心に数多くの花ござ工場が設立され、花ござは貴重な輸出品として主にアメリカに輸出されました。

その後も早島は、い草の町として栄え、昭和39年にはい草の作付面積、畳表の生産量とも最高を記録しました。誰でも気軽に利用できる、町の情報発信の場「観光センター」は町内にあった5棟の蔵、母屋を解体し再整備したもので、梁や壁、瓦、建具などにその面影を見ることができ、工芸作品の展示即売コーナーもあります。

畳の製作協力：渡辺源二商店



私達の手にはいるのはい草の町、早島の畳です。

【観光センター】都窪郡早島町前湯596



募金箱を被災地にお届けしました。

本当にありがとうございました。

2018年7月~11月までの募金額
岡山県共同募金会を通じて各市町村へ全額寄付

¥2,264,144

2019年実施日

- 場所：倉敷美観地区 大原美術館前
- 時間：13時30分~16時30分 ※時間は多少前後します。

- 7月 6日(土)、7日(日)
13日(土)、14日(日)、15日(祝)
- 9月 14日(土)、15日(日)、16日(祝)
- 11月 2日(土)、3日(日)、4日(祝)
- 12月 17日(火) ※JR倉敷駅前にて

f 雨天の際の場所変更や時間変更など
詳細はfacebook(高野山真言宗備中
青年教師会)よりご確認をお願い致します。



- 主催：デニム僧衣で被災地復興支援の会
- 共催：高野山真言宗備中青年教師会
- 後援：倉敷市、井原市、高梁市、早島町、井原被服協同組合、真備船穂商工会

『平成三十年七月豪雨』の街頭募金活動を実施

あなたと被災地
知れば繋がります、

2018年は18回、有志23名にて活動



多くの方々から、募金活動にご協力をいただき、

私たちは義援金“金密”

そして温かな言葉をかけていただきました。